

ない。それは利用者のニーズや施設の特徴などに即して形成されるものといえよう。

⑤レベルの高いサービスの質を継続的に提供していくためには、上述したサービス理念や目標およびそれを具現化したサービス内容などが示されたサービス計画（全体計画）を始めとして、同計画で示されたサービスを利用者個々人に適用して作成される個別計画（ケアプラン）、さらには、サービス提供者としての職員の立場から業種ごとにまとめられる業務計画などサービス提供に関する諸計画が相互に関連付けられながら吟味され、整備されることが必要となる。

これらの計画はサービスの質を均質化させ、サービス提供者間での格差を是正していくなどサービスの質の向上に寄与する要素として挙げられるものである。しかし、今日、同計画の整備や

その実現が十分とはいえない実態が指摘される。

生活施設としての福祉施設で提供されるサービスの質の水準は、その国としての「豊かさ」の水準を計るうえでの一つの指標ともいえる。21世紀の豊かな国日本を構築するうえで、現状での施設サービスの質のレベルを評価し、求められるあり方の実現に向けての探求が今後とも続けられなければならない。本稿を補完するために、現状における施設サービス（特別養護老人ホーム・老人保健施設）の質について、個々のサービスからより具体的に評価したものとして注記に示す拙稿を参照していただければ幸いである³⁷⁾³⁸⁾。また、施設サービスにおけるサービス「理念」および「目標」の今日の特徴などに関してもあわせて拙稿を参照いただきたい³⁹⁾⁴⁰⁾。

The change in quality of service in welfare facilities for the elderly

ABSTRACT

I have examined the change in function and role of welfare facilities for the elderly in Japan. However, we are still required to consider the historical changes of social welfare facilities from the viewpoint of users, for the facilities are not simply a building, but a place where their users live.

In this article, I have taken into account the change of welfare facilities for the elderly. I also consider, from the viewpoint of the users, the change of, "quality of service," such as the contents and characteristics of service offered in welfare facilities for the elderly.

Key Word : welfare facilities for the elderly, quality of service, change

-
- 37) 拙稿, 「特別養護老人ホームにおけるサービスの質に関する評価的研究」(『キリスト教社会福祉学』第31号), 日本基督教社会福祉学会, 1998, PP. 20-29.
- 38) 拙稿, 「施設サービスの質に関する評価的研究—老人保健施設を中心に特別養護老人ホームとの比較を通して—」(『キリスト教社会福祉学』第33号), 日本基督教社会福祉学会, 2000.
- 39) 拙稿, 「特別養護老人ホームにおけるサービスの理念に関する検討—施設運営計画の分析を通して—」(『介護福祉学』Vol. 6 No. 1), 日本介護福祉学会, 1999, PP. 73-80.
- 40) 拙稿, 「特別養護老人ホームにおける処遇目標に関する分析的研究」(ソーシャルワーク研究所編『ソーシャルワーク研究』102号), 相川書房, 2000, PP. 52-58.